

# 環境活動レポート

2013年度(2013年7月～2014年6月)



2014年8月15日作成



# 環 境 方 針

## 環境理念

“次の世代に美しい自然を”残すために私たち株式会社建総は全社員をあげて地球環境保全に貢献し、『自然環境は次の世代からの預り物』と捉え心やすらげる美しい自然環境創りを実践し快適生活をトータルにサポートする地域必要企業を目指します。

## 環境行動方針

株式会社建総は、地球環境規模で物を考え私たちの業務の、水処理、廃棄物の運搬、下水道・側溝の清掃及び修繕工事を通じて、これに伴う法規制を遵守しながら、環境マネジメントシステムを構築運用し、環境保全、環境汚染の防止及び継続的改善に取り組みます。

1. 営業を強化し、浄化槽の保守点検をされていない住民の方に1件でも多く契約して頂き、よりきれいな排水を放流することにより河川をきれいにし、富栄養化を阻止します。
2. 下水道管路施設は、過酷な条件下で使用され続けるため、やがて破損に至りますが、下水道修繕工事をする事で、施設の寿命延長に貢献します。
3. 廃棄物収集運搬においてよりいっそうの分別を啓蒙し、リユース、リサイクルの徹底により廃棄物排出量の削減に努めます。
4. 節水等により水使用量の削減に努めます。
5. 二酸化炭素排出量削減のため、車両の燃費向上と電気使用量削減に努めます。
6. グリーン購入の推進に努めます。
7. 化学物質の管理に努めます。

環境方針は全従業員に周知し、公表します。

制定 平成 19 年 4 月 1 日

改訂 平成 25 年 7 月 1 日

株 式 会 社 建 総

代表取締役 安部 拓哉

## 1. 会社の概要

法人設立年月日		昭和 50 年 7 月 9 日
資本金		2,000 万円
売上高	2013 年度	558 百万円 (2013 年 7 月～2014 年 6 月)
事業所名		株式会社 建総
代表者名		安部 拓哉
所在地		千葉県市川市原木 3-18-9
環境管理責任者氏名		岩切博司
担当者連絡先	(電話)	047-328-8333
	(FAX)	047-328-8338
事業活動の内容		1) 浄化槽保守点検・清掃業・工事業 2) 貯水槽清掃業 3) 産業廃棄物収集運搬業 4) 一般廃棄物収集運搬業 (ごみ・汚泥、特定家庭用機器再商品化法対象物) 5) 下水道カメラ調査・清掃・補修工事、側溝清掃、しゅんせつ業 6) 排水管清掃業

## 2. 事業規模

	2012 年度	2013 年度
従業員(人)	42	46
本社床面積(m <sup>2</sup> )	164.71	164.71

### 2-1. 収集運搬業

#### <収集運搬車両の種類と台数>

4 トンパッカー車	4 台
3 トンパッカー車	1 台
2 トンパッカー車	10 台
4 トンアーム車	2 台
3 トンアーム車	1 台
2 トン平ボディ車	1 台
バキューム車	6 台
ユニック付ダンプ車	1 台



## 2-2. 下水道カメラ調査・補修・しゅんせつ、側溝清掃業

### <下水道カメラ調査・補修工事の内容>

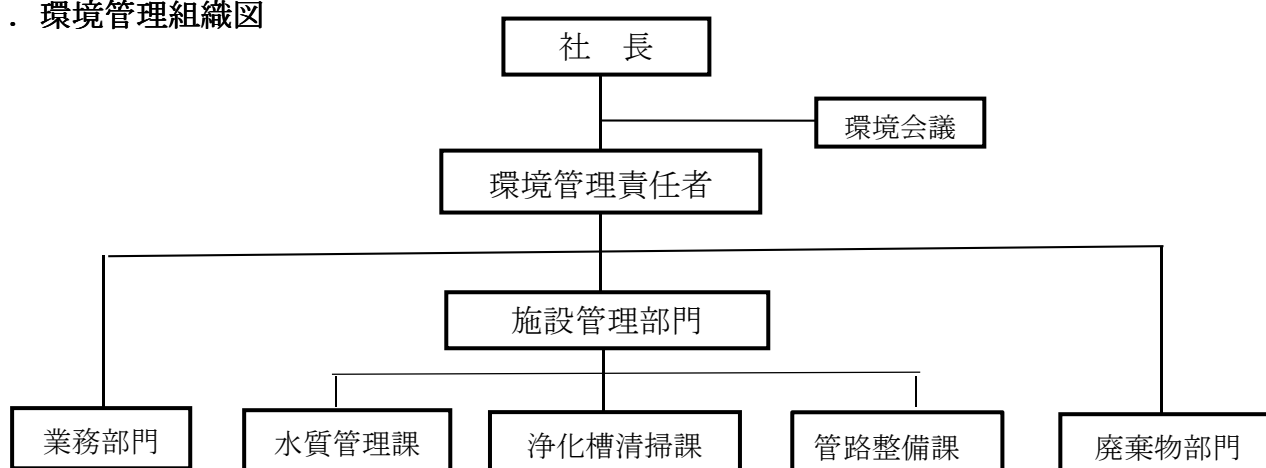
FRP 内面補修工法協会 会員 173 (2007 年 2 月 1 日)

内面補修工法	洗浄 → TV カメラ調査 → 内面補修・硬化管理	
<調査・補修車両>	TV カメラ車 3 台 内面補修車 1 台	10 トンダンパー車 1 台 4 トンダンパー車 2 台
<しゅんせつ・側溝 清掃車両>	—	高圧洗浄車 3 台 給水車 1 台

## 3. 認証・登録の対象組織・活動

認証・登録事業者	株式会社建総 千葉県市川市原木 3-18-9
対象事業所	本社
対象活動範囲	浄化槽保守点検・清掃業・工事業、貯水槽清掃業、 産業廃棄物収集運搬業、一般廃棄物収集運搬業 下水道カメラ調査・清掃・補修工事、側溝清掃、しゅんせつ業

## 4. 環境管理組織図



	役割・責任・権限
社長	環境経営システムの実施に必要な人、設備、金等の提供 環境管理責任者の任命 文書・記録類の承認 代表者による全体の評価と見直し実施
環境管理責任者	環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連文書・記録類の作成、確認 環境活動の結果を代表者へ報告
環境会議	環境活動結果の審議、コミュニケーション
部門	自部門に関する環境活動計画の実施と報告 教育訓練・緊急事態訓練の実施

## 5. 許認可一覧

### < 産業廃棄物の収集運搬の許可の内容 >

産業廃棄物収集運搬業許可対象					許可品目																
都道府県及び政令都市	積替保管の有・無	許可取得年月日	有効期限	許可番号	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず	陶磁器くず・ガラス	コンクリートくず	鉱さい	がれき類	ばいじん	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	
千葉県	無	H23.9.29	H28.9.16	01200042280	○	○	○	○	○	⑤	①	⑤	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東京都	無	H23.9.13	H28.9.12	13-00-042280	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
栃木県	無	H26.3.31	H31.3.30	00900042280	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
神奈川県	無	H26.3.14	H31.1.26	01403042280	○	○	○	○	○	②	○	②	○	②	○	○	○	○	○	○	○
埼玉県	無	H26.4.14	H31.2.28	01105042280	○	○	○	○	○	②	①	②	○	②	○	○	○	○	○	○	○
茨城県	無	H26.5.7	H31.3.29	00801042280	○	○	○	○	○	③	①	③	○	④	○	○	○	○	○	○	○

- (注) ① 自動車等破砕物を除く  
 ② 石綿含有産業廃棄物を含む  
 ③ 自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く  
 ④ 石綿含有産業廃棄物を除く、石綿含有産業廃棄物を含む  
 ⑤ 自動車等破砕物を除く、石綿含有産業廃棄物を含む

### < 一般廃棄物の収集運搬の許可の内容 >

市町村	許可番号	許可取得年月日	有効期限	取扱廃棄物の種類
市川市	第 107 号	平成 26 年 4 月 1 日	平成 28 年 3 月 31 日	一般廃棄物(ごみ・浄化槽汚泥等)

### < 特例浄化槽工事業届出の内容 >

都道府県	届出番号	届出年月日
千葉県	千葉県知事(届-24)第 1605 号	平成 25 年 9 月 11 日

浄化槽法第 33 条第 2 項により特例浄化槽工事業者として届出

### < 浄化槽清掃業の許可の内容 >

市町村	許可番号	許可取得年月日	有効期限
市川市	市川市第 7 号	平成 26 年 4 月 1 日	平成 28 年 3 月 31 日

### < 浄化槽保守点検業者の登録の内容 >

都道府県・市	登録番号	許可取得年月日	有効期限
千葉県	千葉県知事(登 9)葛地振第 1 3 号	平成 24 年 3 月 15 日	平成 29 年 3 月 14 日
船橋市	船橋市長(登 3)第 8 2 号	平成 24 年 3 月 15 日	平成 29 年 3 月 14 日
千葉市	千葉市長(登 9)第 9 9 号	平成 24 年 3 月 15 日	平成 29 年 3 月 14 日
柏市	柏市(登 1)第 2 3 - 6 4 号	平成 24 年 3 月 15 日	平成 29 年 3 月 14 日

<建設業の許可の内容>

	千葉県 建設業の許可
許可番号	千葉県知事 許可（般・25）第41142号
許可期間	平成25年7月29日～平成30年7月28日
建設業の種類	土木工事業、建設工事業、とび・土工工事業、石工事業、管工事業、鋼構造物工事業、ほ装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業

<建築物排水管清掃業の登録の内容>

都道府県	登録番号	許可取得年月日	有効期限
千葉県	千葉県 市川保21排第1号	平成22年1月7日	平成28年1月6日

<建築物飲料水貯水槽清掃業の登録の内容>

都道府県	登録番号	許可取得年月日	有効期限
千葉県	千葉県 市川保24貯第1号	平成24年4月6日	平成30年4月5日

<排水設備工事業者の指定の内容>

市町村	指定番号	許可取得年月日	有効期限
千葉市	指定第743号	平成25年4月1日	平成30年3月31日

<一般貨物自動車運送事業の許可の内容>

許可	許可番号	許可日	営業区域
関東運輸局	関自貨第756号	平成14年11月7日	千葉県

## 6. 事業計画の概要

許可を受けた一般廃棄物、産業廃棄物の収集運搬は、廃棄物処理法に則り適正な処理をするとともに、浄化槽の点検・清掃、側溝清掃、下水道のカメラ調査・清掃・補修工事、しゅんせつ工事を適正に行います。

## 7. 処理実績

収集運搬量（2013年度：2013年7月～2014年6月）

単位 トン

収集運搬量	2011年度	2012年度	2013年度
一般廃棄物(ごみ、浄化槽汚泥等)	13,445	13,945	14,040
産業廃棄物（混産）	765	714	540
段ボール	1,808	1,757	1,554
金属	73	82	93
（合計）	16,091	16,498	16,227

## 8. 環境への負荷の状況

2013年度 (2013年7月～2014年6月)

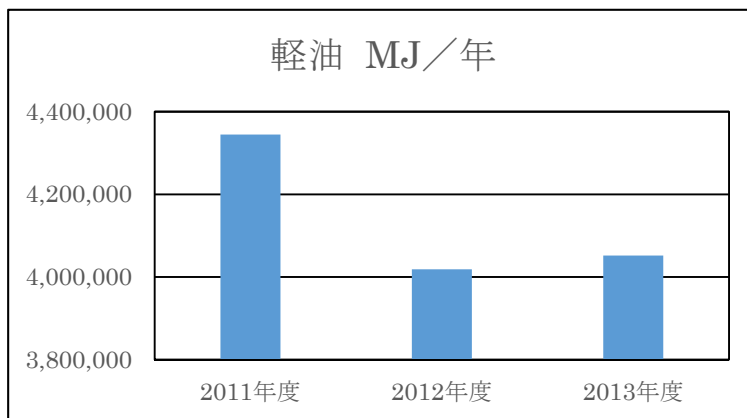
		単位	2011年度	2012年度	2013年度
二酸化炭素排出量	二酸化炭素	kg-CO <sub>2</sub>	355,071	328,155	334,093
総エネルギー投入量	購入電力	MJ	360,358	346,124	327,506
	LPG	MJ	10,191	8,936	9,438
	ガソリン	MJ	627,679	569,827	561,523
	軽油	MJ	4,344,792	4,018,564	4,051,798
受託した収集運搬量	産業廃棄物	t	765	714	540
	一般廃棄物	t	13,445	13,945	14,040
自社活動からの 廃棄物排出量	一般廃棄物排出量	t	0.24	0.24	0.24
	うち再資源化等量	t	0.04	0.04	0.04
水資源投入量	水使用量	m <sup>3</sup>	2,474	1,890	1,267
物質使用量	資源使用量	t	4.77	4.78	4.78
化学物質使用量	(PRTR 制度対象物質)	t	0	0	0

< 購入電力の二酸化炭素排出係数 >

2013年度は、平成 25 年 11 月公表東京電力(株)の平成 24 年度実排出係数 0.525 kg-CO<sub>2</sub>/kWh を使用。但し、2012 年度までは、実排出係数は、0.374 kg-CO<sub>2</sub>/kWh を使用

< 浄化槽消毒剤 >

浄化槽消毒剤は、PRTR 制度対象品でないため、その使用量は物質使用量欄に記載。



## 9. 廃棄物処理料金

個別見積による(見積料は無料)。

## 10. 環境目標、環境活動とその実績

中長期目標 2014年7月18日改訂

期間：7月～6月

環境目標	単位	基準値 (2011年度 実績)	目標値		
			2012年度 (実績値)	2013年度	2014年度
二酸化炭素排出量の削減	Kg-CO <sub>2</sub> /年	355,071	328,155	—	—
電気使用量の削減	kWh/年	36,659	35,211	同月比1%削減	同月比2%削減
軽油使用車両の燃費向上	Km/ℓ	3.93	3.92	現状維持	基準比0.5%向上
浄化槽汚泥収集運搬量の増加	t/年	11,538	12,194	基準比1.5%増加	基準比2%増加
金属くずの回収量増加	t/年	73	81.84	基準比5%増加	基準比10%増加
上水使用量の削減	m <sup>3</sup> /年	674	607	現状維持	現状維持
浄化槽保守点検契約受注件数増加	件/年	250	298	250件/年以上	250件/年以上
下水道補修・浚渫工事件数増加	件/年	20	20	20件/年以上	10件/年以上
グリーン購入の推進	%	100	100	優先購入	優先購入
化学物質の管理	—	—	OK	保管管理、施錠	保管管理、施錠

- ・浄化槽消毒剤は、PRTR 制度対象品でないため削減目標値は設定しないが、環境活動として浄化槽消毒剤置き場の管理、施錠を行う。
- ・グリーン購入の対象は事務用品であるが、主なものはOA用紙であり、環境活動として環境配慮商品を優先購入する。
- ・二酸化炭素排出量の削減は、汚泥収集運搬量、金属くず回収量の増加を目標としており軽油使用量が増加する。このため削減目標は設定しないが、電気使用量及び軽油使用量の削減活動により二酸化炭素排出量増加を抑える活動を実施する。

### 2013年度環境目標及び活動の結果

2013年度（2013年7月～2014年6月）

環境目標	2013年度目標	2013年度実績	評価
二酸化炭素排出量の削減	— (二酸化炭素排出量増加を抑える活動をする)	年度末累計実績は334,093kg-CO <sub>2</sub> /年なり、2012年度に比べ1.8%増	×
電気使用量の削減 基準値：2011年度実績 36,659 kWh/年	2011年度比で電気使用量を1.5%削減 (36,100 kWh/年以下)	累計削減実績値は33,317 kWh/年で基準年度比9%減となり目標値達成	○
軽油使用車両燃費の向上 基準値：2011年度実績 3.93km/ℓ	2011年度比で軽油使用車両の燃費を現状維持とする (3.93 km/年以上)	年度末累計燃費実績は4.04 km/年となり目標値達成	○
浄化槽汚泥収集運搬量の増加 基準値：2011年度実績：11.583t/年	2011年度比で浄化槽汚泥収集運搬量を1.5%増加 (11,760 t/年以上)	累計収集運搬量実績は、12,030 t/年で基準年度比3.8%増となり目標値達成	○



金属くず回収量の増加 基準値：2011 年度実績：73 t/年	2011 年度比で 金属くず回収量を 5%増加 (76.8 t/年以上)	累計回収量実績は 92.7 t/年で 基準年度比 27%増 となり目標値達成	○
上水使用量の実績の現状維持とする 基準値：2011 年度実績：674m <sup>3</sup> /年	2011 年度実績の現状維持 (674m <sup>3</sup> /年以下)	累計使用量実績で 702 m <sup>3</sup> /年となり 目標値未達成	×
浄化槽保守点検契約受注活動の推進 新規契約件数 250 件/年以上受注	浄化槽新規保守点検契約 件数を 250 件/年以上受注	累計契約件数実績は 330 件/年となり 目標値達成	○
下水道補修・しゅんせつ工事受注活動 の推進 工事件数を 20 件/年以上受注	下水道補修・しゅんせつ 工事を 20 件/年以上受注	累計受注件数実績は 11 件/年となり 目標値未達成	×
グリーン購入の推進 環境配慮商品の優先購入	環境配慮商品の優先購入	環境配慮商品の 優先購入実施	○
化学物質の管理 化学物質置き場の管理及び施錠	浄化槽消毒剤置き場の 管理、施錠	置き場の管理、 施錠の実施	○

- 1) 二酸化炭素排出量は、電気使用量は減少したが、収集運搬量の増加により軽油使用量が増加したため、年度末累計二酸化炭素排出量は 2012 年度に比べ増加した。  
次年度も電気使用量、軽油使用量の削減に努め、増加量を抑える活動を実施する。
- 2) 軽油使用車両の燃費は、2013 年度は 2011 年度に比べ目標達成となった。  
バキューム車を 2 台更新したため、燃費が向上したと思われる。  
次年度も目標として継続する。
- 3) 上水使用量は、2013 年度目標値は 2011 年度実績 674m<sup>3</sup>/年の現状維持とし、  
節水に努めたが、側溝清掃に使用する水が増加したため 702m<sup>3</sup>/年となり目標値未達成。  
次年度も余分な使用は控える等の節水で、上水使用量削減に努める。
- 4) 浄化槽保守点検契約件数は、今後下水道への切替えで新規受注件数は減少すると思われたが、  
営業エリア拡大等の営業努力により 2013 年度目標値は達成。  
次年度も浄化槽保守点検契約件数拡大の営業活動は継続する
- 5) 環境配慮商品の優先購入と浄化槽消毒剤の置き場管理と施錠は実施した。  
次年度も環境活動として今後も取り組むこととする。
- 6) 廃棄物排出量削減は、実績が 0.24kg/年であり自社廃棄物が少ないため、削減目標値は  
設定しないが、削減に努める。

## 10. 環境活動計画の内容と取組結果の評価及び次年度取組内容

2013年度(2013年7月～2014年6月)環境活動計画の内容と取組み結果評価及び次年度取組み内容

環境目標・環境活動計画	評価	取組結果	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量の削減	×	電気使用量は減少したが、軽油使用量が増加したため、二酸化炭素排出量は増加	電気使用量、軽油使用量削減に取り組み、排出量増加を抑える活動を実施する
電気使用量の削減	○	基準値に対し9%減で目標値達成	目標値を2%削減とする
照明節電	○	残業時間短縮に取り組んだ	2014年度も継続
エアコン温度適正設定の徹底	○	エアコン適正温度による運転が定着してきた	2014年度も継続し、適温設定の徹底をする
エアコン使用時間の制限	○	残業時間短縮、必要時以外はエアコン停止に取り組んだ	2014年度も継続し、使用をできるだけ控える
LEDに変更	×	LEDへの切り替えは、未実施	2014年度予定なし
軽油使用量の削減	○	収集運搬量の増加により軽油使用量は4%増加したが、燃費向上目標値は達成	2014年度も軽油使用量車両の燃費向上に取り組む
エコドライブ・アイドリングストップの徹底	○	燃費が前年に比べ向上しており、エコドライブ、アイドリングストップは、徹底されてきた	2014年度も継続
省エネ車への更新	○	バキューム車2台更新	2014年度も更新を検討する
ドライブレコーダのデータ解析	△	走行状態を必要時に確認する程度の利用であり、データを解析して利用して改善に活用していない	2014年度は、特定車両に関してデータ解析に取り組む
リサイクル量拡大	○	金属くず回収量は、基準値に対し27%増となり目標値達成	2014年度も金属くず回収量拡大を目標にして取り組む
浄化槽汚泥収集運搬量を増やすため浄化槽新規顧客開拓	○	新規契約件数330件	2014年度も継続
金属類の回収量を増やすため排出先への分別リサイクル啓発	○	金属くずの分別徹底を依頼	2014年度も継続
金属くず排出の新規顧客の開拓	×	新規顧客は開拓できなかった	2014年度も継続
上水使用量の削減	×	側溝清掃時の上水使用量が増加したため目標値未達成	2014年度も上水使用量削減を目標として取り組む
洗車、洗濯時の水使用量削減	○	洗車時の節水は徹底されてきた。	2014年度も削減徹底を継続
節水意識教育	○	朝礼等で節水教育実施	今後も朝礼等で教育実施

浄化槽保守点検契約件数の拡大	○	受注件数は 330 件になり目標値達成。	今後も活動は継続する
受注営業活動の推進	○	新築先訪問による営業活動で目標件数を達成している	今後も受注活動を継続する
営業エリア拡大	△	エリア拡大により、浄化槽点検を実施していないと思われる家へのPR実施	2014 年度は 11 条検査の受注件数拡大に取り組む
新築先に浄化槽点検情報の提供	○	浄化槽点検営業担当者が実施	2014 年度も継続
下水道補修・しゅんせつ工事件数の拡大	×	受注件数は 11 件で目標値未達成	今後も受注活動を継続する
官公庁への受注活動の強化	×	行政が発注する工事の受注獲得が低調だった	2014 年度も継続
化学物質の管理	○	化学物質は保管庫に保管し施錠実施。	今後も施錠実施
紙使用量の削減	△	仕事量の増加により提出書類が増加し、使用量削減が出来ない	2014 年度も削減活動に努めるが、紙使用量削減目標は設定しない
両面コピーの徹底	○	徹底されている	2014 年度も継続
使用済み用紙の裏紙使用	○	実施されている	2014 年度も継続
電子メディア等の利用でペーパーレス化	○	データの一部をサーバーに保管。不要な用紙削減に取り組んでいる	ペーパーレス化を推進する
グリーン購入の推進	○	OA用紙は、環境配慮商品を購入	2014 年度も継続
環境配慮商品を優先購入	○	優先購入している	2014 年度も継続

評価： ○：実施しており成果も出ている

△：活動はしているが、まだ不徹底の場合、成果がまだ十分でない

×：なにもされていない

【社長の評価】 ・車両洗車、洗濯時の節水を徹底させること。

・全車両にドライブレコーダを取り付けた。今後データの解析を実施し、燃費改善のためエコドライブ、アイドリングストップを徹底させること。

・金属くずのリサイクル量拡大のため新規顧客開拓の営業活動を強化すること。

## 11. 社長の全体の評価及び見直し

### 社長による評価

① 年度毎の月使用データのグラフを作成し、データをビジュアル化したことは、データの時系列推移を把握できるようになり、いい活動である。

今後この分析データを基に、周知し、目標値設定を見直してほしい。

② 2013 年度の活動結果の報告を受けたが、今後も継続して目標値達成に向けて活動すること。

③ 浄化槽新規契約件数は、営業努力により今年も目標値を達成できた。

今後も継続して新規契約件数目標値を達成すること。

- ④ 上水使用量目標値未達成は、事務所、洗車での使用の他に、側溝清掃で上水を使用するため仕事内容により使用量が変動する。

そのために上水使用量の目標未達成となった件は了承する。

### 見直し結果からの社長指示 (アウトプット)

1. 環境方針の変更の必要性 有・無  
変更の必要はない。
2. 環境目標、環境活動計画の変更の必要性 有・無  
  - ・2013年度実績を基に、2014年度の目標、目標値を検討し、「環境目標・活動計画」を見直すこと。
  - ・上水使用量に関しては、側溝清掃等で使用する給水量(使用量)は、受注件数、清掃内容(清掃作業距離)等により大幅に変動するので、環境目標には含めずに事務所、浄化槽部門での使用量に限定して、2013年度実績を基に、2014年度目標値を検討すること。
3. その他、環境経営システムの変更の必要性 有・無  
「環境経営マニュアル」を現状の活動と一致しているか、改善点等含め見直しを行うこと。

## 12. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

平成26年7月に環境関係法令等の遵守状況を確認した結果、環境関係法令等への違反はない。なお、過去3年間関係当局からの違反等の指摘はなく、また近接住民、利害関係者からの苦情、訴訟等もない。

主な適用を受ける環境関連法令

浄化槽法	保守点検業者の登録、浄化槽管理士確保、標識の掲示、清掃業の許可、帳簿管理、	OK
建設物における衛生的環境の確保に関する法	貯水槽・排水管清掃業登録、清掃作業監督者確保	OK
廃棄物処理法	マニフェスト管理、委託契約書管理、帳簿管理、収集運搬業許可証管理	OK
道路運送車両法	整備管理者の選任	OK
貨物自動車運送事業法	運行管理者の選任、アルコールチェック	OK
道路交通法	安全運転管理者の選任	OK
酸素欠乏症等防止規則	酸素欠乏症危険作業主任者確保	OK
建設業法	建設業の許可	OK

## 13. 社会貢献

- ・低公害化、省エネのため、バキューム車2台更新。
- ・ペットボトルのキャップを集め、海外の恵まれない子供にワクチンを届けるNPOボランティア活動に取り組んでいる。今後この活動を拡大していきたい。